

4. 資料編

事業実績 1

井宮連合町内会

日時	平成20年12月7日(日)
会場	井宮小学校校庭
参加者	住民720名(中高生を含む)
内容	<p>■ プログラム</p> <p>8時半 スタッフ集合、メイク開始</p> <p>それぞれの模擬患者には怪我のメイクと演技指導を行い、家族役、搬送役にも心配する家族の気持ちになって早い治療も求めてもらうように演技指導を行った。</p> <p>9時半 トリアージ第1部開始</p> <p>7名の模擬患者とその家族が救護所に押し寄せ、我先にと診療を求め混乱し機能しない救護所の場面を演出した。</p> <p>10時 トリアージ第2部開始</p> <p>医学的に急ぐかどうかの判断の説明を行った。トリアージの必要性、考え方、具体的なやりかたについて、それぞれの症例毎に説明した。</p> <p>11時15分 講評</p> <p>災害時の地域の被害総定数を示し、消防や医療で対応できないこと、従って自分たちの地域の命は地域で守る必要があることを説明した。そのためには地元の医師会の医師と協力し、救護所の立ち上げ訓練やトリアージ訓練が必要なこと、重傷者を病院に搬送したり、骨折などの軽傷者の応急処置の方法を市民が覚える必要があることを説明した。</p> <p>11時半 終了</p>
経緯	<p>平成20年10月9日 第1回町内会との打ち合わせ</p> <p>訓練の概要説明、協力機関と依頼の確認 トリアージ・デモンストレーションでの役者の手配を依頼</p> <p>平成20年11月11日 第2回町内会との打ち合わせ</p> <p>DVDによるビデオを上映 訓練の概要、役者の演技、当日の準備について説明</p>
協力団体	井宮学区の開業医3名、静岡市薬剤師会2名(田畑、大村式)、柔道整復師会6名(石谷、山西、丹羽、内田、加藤、小澤)
スタッフ	NPO法人災害・医療・町づくり6名(統括;大村、トリアージ;千原、岩崎、小林、山本眞、笠原)

事業実績 2

城北連合町内会

日時	平成20年12月7日(日)
会場	城北小学校校庭
参加者	住民1,000名(中学生200名、高校生100人を含む)
内容	<p>■ プログラム</p> <p>8時 スタッフ集合 模擬患者のメイク開始</p> <p>8時50分 開会式</p> <p>9時10分 倒壊家屋からの救出訓練 Yunbo出動</p> <p>9時26分 救護所でのトリアージ訓練 町内で開業している医師5名が参加</p> <p>9時46分 消火訓練</p> <p>10時07分 市民が行う怪我の応急処置</p> <p>① 止血法</p> <p>② 傷の手当て</p> <p>③ 骨折の固定</p> <p>市民の身の回りにあるもので、応急処置を行った</p> <p>11時30分 講評</p> <p>12時終了</p>
経緯	<p>平成20年9月 第1回町内会との打ち合わせ 訓練内容、スタッフ確認、協力機関と依頼の確認、</p> <p>平成20年10月 第2回町内会との打ち合わせ 町内会スケジュール表確認、準備の進行の確認、役割分担</p> <p>平成20年11月 第3回打ち合わせ 応急処置テキスト配布、当日資料配布、当日の流れと役割確認</p>
協力団体	<p>地域の医師会員5名、静岡県看護協会静岡支部12名、静岡大学保健管理センター2名、中央高校生徒96名、安東中学校、観山中学校生徒合わせて210名、安東小学校、第19消防団、静岡県立総合病院、救難バイク隊1名</p>
スタッフ	<p>NPO法人災害・医療・町づくり9名(統括;安田、メイク;加治、望月、応急処置;池谷、中学生統括;田中、病院との流れ;諏訪、吉田、木下、気田、)</p>

救出訓練



トリアージ



搬送



怪我の応急処置



連合町内会単位で行わなければならないこと

1. 救護所でのトリアージ
2. 軽傷者の応急処置
3. 重傷者の病院への搬送

について、必要性の説明と具体的方法を実習した

事業実績 3

救護所訓練報告会

日時	平成 21 年 2 月 28 日 (日)
場所	静岡市役所 17 階 170 会議室
参加者	68 名 (防災指導員、自治会・町内会関係者、NPO 関係者)
1. 訓練実施地区からの報告	<p>①トリアージ訓練報告 井宮連合町内会 12 月 7 日の訓練報告 住民が模擬患者や搬送役になり、地域での医師会員がトリアージをした。</p> <p>②トリアージ訓練報告 安西学区 P T A 救護所の流れ、トリアージ訓練 住民が模擬患者や搬送役になり、地域での医師会員がトリアージをした。 メイクも P T A が担当し、実際の救護所の流れに基づいて訓練を行った。</p> <p>③地域の自立訓練報告 城北学区連合町内会 12 月 7 日の訓練報告 倒壊家屋からの救出訓練、救護所立ち上げ、トリアージ訓練、搬送訓練 救出から、トリアージ、応急処置、搬送までを地域でやろうとする訓練で全国でももっとも進んだ訓練でしょう。</p> <p>④防災教育報告 藤枝中央小学校 700 名の P T C 大会 { P (父兄) T (教師) C (生徒) } の報告 図上訓練：通学路のハザード、負傷者の流れ 医療：トリアージ、クラッシュ症候群、怪我の応急処置 防災の知恵：紙ぶるる、クロスロード 全校生徒と P T A が一緒に防災教育を行う画期的な発表でした。</p>
2. 朗読劇「私たちの街はどうなるの？」	<p>城内中学校 2 年生 40 名 第 3 次被害想定を元に、阪神大震災の被災者の声を参考に、自分たちの直面する景色を朗読劇とし上演した。 受講者の評価はもっとも高かった</p>
3. 講演「静岡市の被災状況」	<p>安田 (NPO 理事長) 静岡市民が直面すると思われる被害と支援する側の消防・医療を対比させ、地域は地域で守る (自助、互助) の必要性を示した。</p>
4. 実習「災害時のケガの応急処置」	<p>NPO 法人災害・医療・町づくり 市民の身近にあるもの (新聞紙、ダンボール、木切れ、ペットボトル、タオル、ビニール袋、ラップ、ガムテープなど) などを使って「傷の手当て」「止血」「骨折の固定」の 3 つの応急処置を実技で教えた。 身近にあるものでできる応急処置で日常にも使えるものです。</p>
スタッフ	NPO 法人災害医療町づくり 8 名 (会員 6 名、応援 2 名) 小林、安田、大村、加治、笠原、田中、三谷、松本
評価	全体として、受講者からの評価は高く、今後の広がりを感じさせました。

救護所訓練報告会



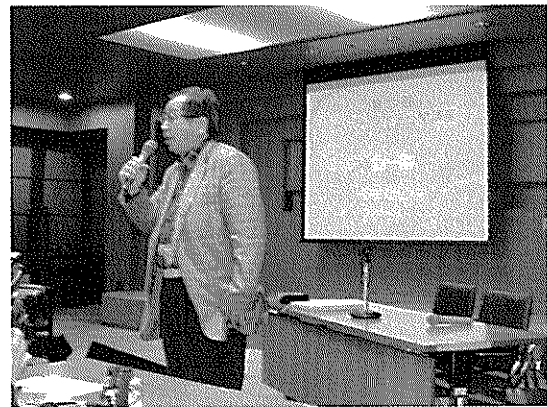
井宮町内会の報告



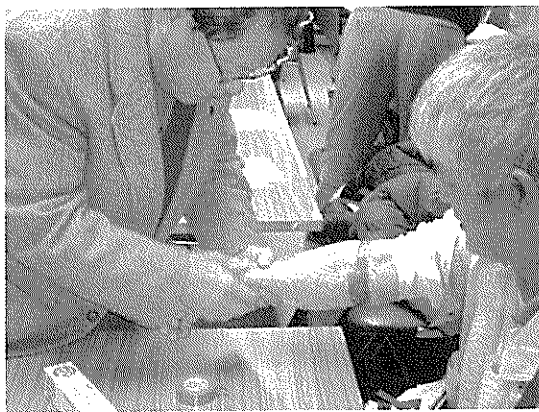
城内中学生による朗読劇



静岡市の被災状況



傷の手当て（ラップ法）



骨折の固定（ガムテープ、ビニール袋）

